

宮田ほたるの里 を守る会活動に 参加して

津久井利章

今年のほたる祭りは近年にはないほど数多くのほたるが見られました。

お客さまの数は近年、若手の増があるもののある程度固定化しているように感じられます。特に祭り以外の目でも多くの人たちが見学に来ています。

ここ数年のほたるの水路の泥上げや草の根の除去、柳の木の成長など整備を進めてきた努力の積み重ねがほたるの増加につながってきているのだと思います。

私も仕事の関係から活動に出られないときもありますが、今後でもできる限り参加をしたいと思っています。



宮田ほたるの活動を見た
り聞いたりした人たちがほ
かの地区でもホタルおこし
を行い、さらに活動の輪が
広がってきています。
こうした一つの運動が地
域に広がり地域の活性化や
人づくりにつながると思い
これからの活動を続けてゆ
きたいと思っています。

「ほたる祭り」 について思うこ と

石原和子

ここ宮田ほたる祭りでは
子供たちがとても活躍して
います。例えばホタルの展
示ブースではお客さまより
質問が投げられれば、瞬時
に対応し丁寧に対応してい
る様子が伺えます。
またおもちゃの出店では



元気な掛け声を上げ明るく
積極的に接客し盛んなお祭
りを盛り上げてくれています。
その姿はどの子も生き生き
としていて底知れないパワ
ーを感じさせられます。昨
今では子供たちを取り巻く
社会環境の変化に伴い、安
心して伸び伸び過ごせる環
境が少なくなってしまうま
した。

しかし宮田ほたる祭りに
は失われつつある場が有り、
大人と子供で一体となり協
力できる所がとても良いと
感じています。

それともう一つ広くアピ
ールしたい点があります。
それは身体の不自由な人
でも車イスで観賞できる様
道が整備されている環境の
良さです。

例年宮田ほたるの祭りに
は大勢の人が楽しみに来場し
なかに毎年きてくれる人



編集後記

待ちに待った会報2号が
出来上がりました。今年
歴史に刻まれる出来事が多
かった。

群馬県でも八ッ場ダム工
事中止など日本中の注目の
的になりました。生まれ育
った家や山や川が長い歳月
をかけた工事でなくなり、
大勢の人々の悲しみは計り
知れないことでしょう。

志をはたして

いつの日にか帰らん

山はあをき故郷

水は清き故郷

「故郷」(歌詞三番より)

木の実落つ

すべての命を

殖やしけり

宮田ほたるの里を守る会
でもこのような原風景をい
つまでも守っていきましょう。
ほたるっ子



もいます。このことが喜び
となり日ごろの奉仕活動の
励みになっています。
ただ一つ残念に思うこと
は自然まかせのためお祭り
の日に必ずしもホタルが多
く舞うとは限らないこと
です。もし時間のとれる人が
いれば何度か足を運んで
ただけたらと思います。き
つと素晴らしい異空間を目
の当たりにし、しばし立ち
尽くしてしまうのではと思
います。

4ページの答え

問題7 3

※解説…ゲンジボタルの幼虫はカワニナしか
食べないようです。

問題8 3

※解説…ヘイケボタルの幼虫はカワニナ、モ
ノアラガイ、サカマキガイ、タニシなど何でも
食べます。餌がなくなるとカニや虫の死骸(し
がい)なども食べるそうですよ。1も少し正解。

問題9 2

※解説…カワニナは体の中で卵をかえし小
さな貝にしてから産み出します。人間のよう
に病院へは行きません。

問題10 2

※解説…一日に10数匹の子貝(稚貝とも
言います)を秋まで毎日のように産み続け
ます。水路の底が真っ黒になるほど産みま
すよ。

問題11 1

※解説…カワニナの寿命は3~5年位と言わ
れていますが、なかなか観察するのも大変です。

問題12 1

※解説…カワニナの赤ちゃんはとても小さく、
真っ黒です。黒いゴマ粒をイメージしてください。